

リネットジャパングループ株式会社

2020年9月期 第2四半期

決算概要

2020.5.15
リネットジャパングループ株式会社

**中間計画に対し、売上・利益とも堅調に推移
コロナの影響はプラス要因、マイナス要因があることから
現時点では期首計画を据え置き**

【2Q実績】

● **売上高 3,598百万円**
(計画差 +125百万円、計画比 103.6%)

● **営業利益 31百万円**
(計画差 +52百万円)

● **経常利益 108百万円**
(計画差 +107百万円)

【通期計画】

7,568百万円

383百万円

412百万円

1. 現時点で通期見通しは期首計画を据え置き

新型コロナウイルスの影響はプラス要因と、マイナス要因あり

【プラス要因】

- ・ 巣ごもり需要を受け、**リユース事業、小型家電リサイクル事業**が大幅に伸長し**増益見通し**

⇒ **計画より+1億円~3億円**

【マイナス要因】

- ・ カンボジア **車両割賦販売・リース事業**がコロナ自粛により大幅に**減益見通し**、**送出しHR事業**も同様に**減益見通し**

⇒ **計画より▲1億円~▲3億円**

2. 為替リスクヘッジ取引の導入

年度末の為替差損益のヘッジを目的とし

為替予約取引について、108円20銭／総額33百万米ドル分を約定
円高リスクについては大幅に排除するとともに、期首為替レートが
107円92銭であったことから、**一定程度の為替益が確定**

3. 積極的な流動性資金の確保

新型コロナウイルスに伴う、経済環境の変化に備え、手元現金を確保
当四半期末においては24億円を確保

今後は**金融機関からの資金調達を前倒し**で実施。期末での手元現預金として**30億円予定**。また、**不測の事態に備えた融資枠の設定**についてもメインバンクと協議中

4. エクイティ・ファイナンスの実施

3月9日にワラントを発行。しばらくは行使停止としていたが、M&A等の**資金確保を目的として調達を再開**

魅力的な案件への対応を見据え、守りのみならず、成長資金も確保していく方針



新型コロナウイルスの影響

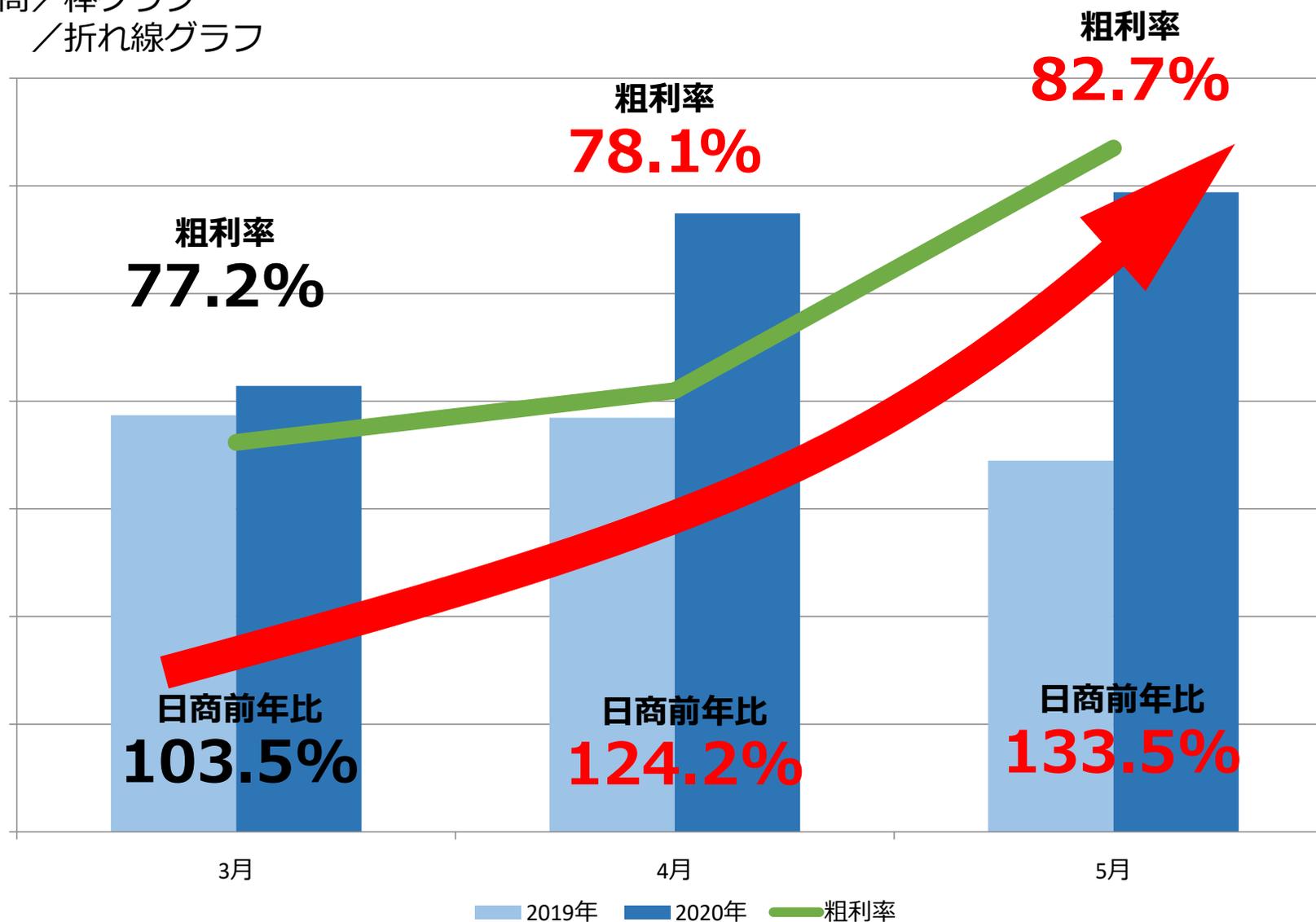
国内事業は、巣ごもり需要の追い風がプラス要因
海外事業は、コロナによる活動制限によりマイナス要因
(プラス要因・マイナス要因の影響が判明次第、速やかに開示する予定)

【プラス要因】 リユース事業

- 巣ごもりでの片付け需要も追い風となり、創業20年で最高月商を達成すると共に買取りについても好調を維持し、粗利率も向上
- 5月以降、日商1,100万円ペース（月間+6,000万円上積み）に引き上げを計画し体制も強化。このトレンドは年内は続く見通し
 - 商品センターの稼働率を上げるためパートアルバイトを+50人新たに採用
 コロナにより失業中の外国人留学生を積極的に受け入れ
 - 上積みした売上については、限界利益率40%で増益に貢献
(月間+2,400万円の増益を目指す)

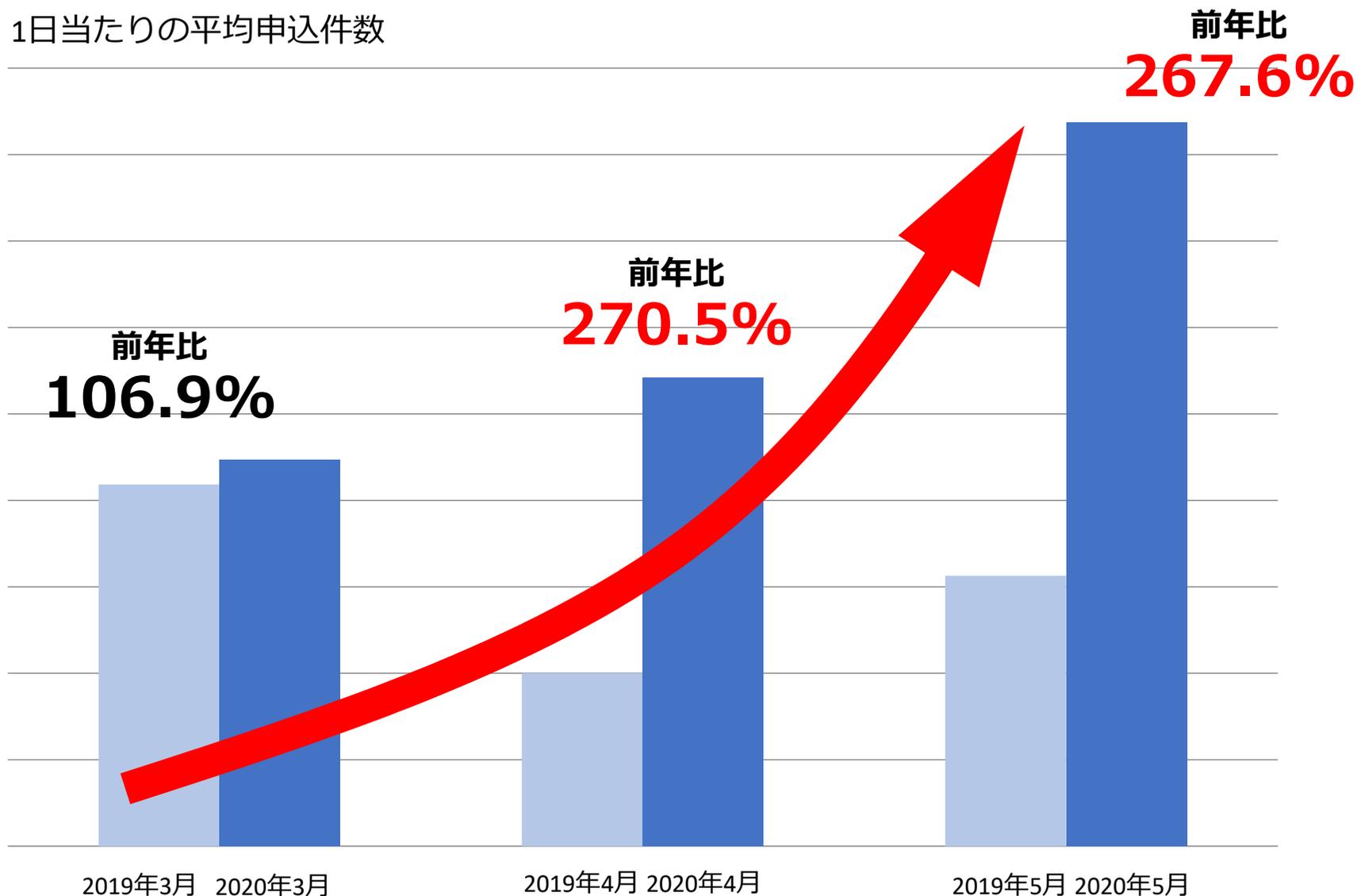
巣ごもり需要の追い風がプラス要因 平均日商で前年比134%、粗利率も大きく向上

平均日商 / 棒グラフ
粗利率 / 折れ線グラフ



巣ごもりによる片付けニーズの拡大を受け 計画を大幅に上回る

1日当たりの平均申込件数



海外事業における新型コロナウイルスの影響

※影響については現在、精査中です

事業概要	新型コロナウイルスの影響
中古車 割賦・リース	コロナの影響により、 リスケの申請が増加 また、 下期以降、営業は慎重なスタンス
マイクロ ファイナンス	少額で分散したポートフォリオもあり、 大きな影響なく 、計画を少し下回る程度で 推移する見込み
外国人HR事業部	渡航禁止などの期間は、売上STOP ただし、今後、再開されれば、日本の自動車 整備士需要は変わらないと想定



**2020年9月期
第2四半期 決算概況**

国内のリユース事業・小型家電リサイクル事業は 新型コロナの「巣ごもり」による片付け需要が拡大

単位：百万円	2019年9月期 2Q	2020年9月期 2Q	対前年同期差 (金額)	対前年同期比 (%)
売上高	4,398	3,598	▲ 800	81.8%
売上総利益	1,907	2,042	+135	107.1%
販売費及び 一般管理費	1,665	2,010	+344	120.7%
営業利益	241	31	▲ 209	13.1%
経常利益	236	108	▲ 127	45.9%
税金等調整前 当期純利益	237	85	▲ 151	36.1%
法人税等	58	44	▲ 14	75.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	181	40	▲ 141	22.2%

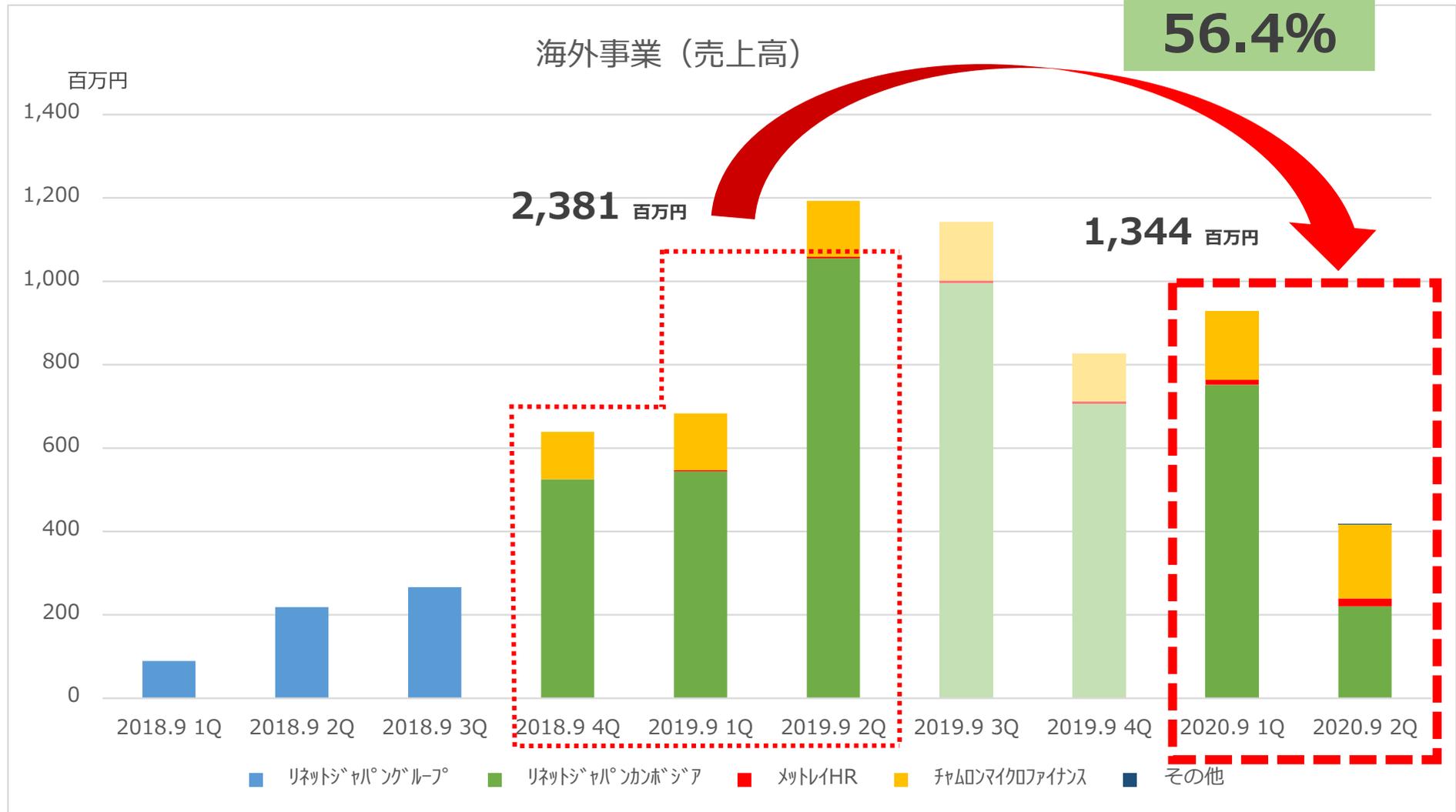
【 経常利益要約 】	
	(百万円)
【 事業収益 】	401
海外事業	114
小型家電リサイクル事業	128
リユース事業	159
【 共通経費 】	▲322
【 為替差益 】	29
連結経常利益	108

※前期決算は海外事業の期ズレ（3か月分）を含む

車両販売事業をストック型のビジネスへ転換した影響と コロナによる自粛影響により売上13.4億円と前期比56.4%

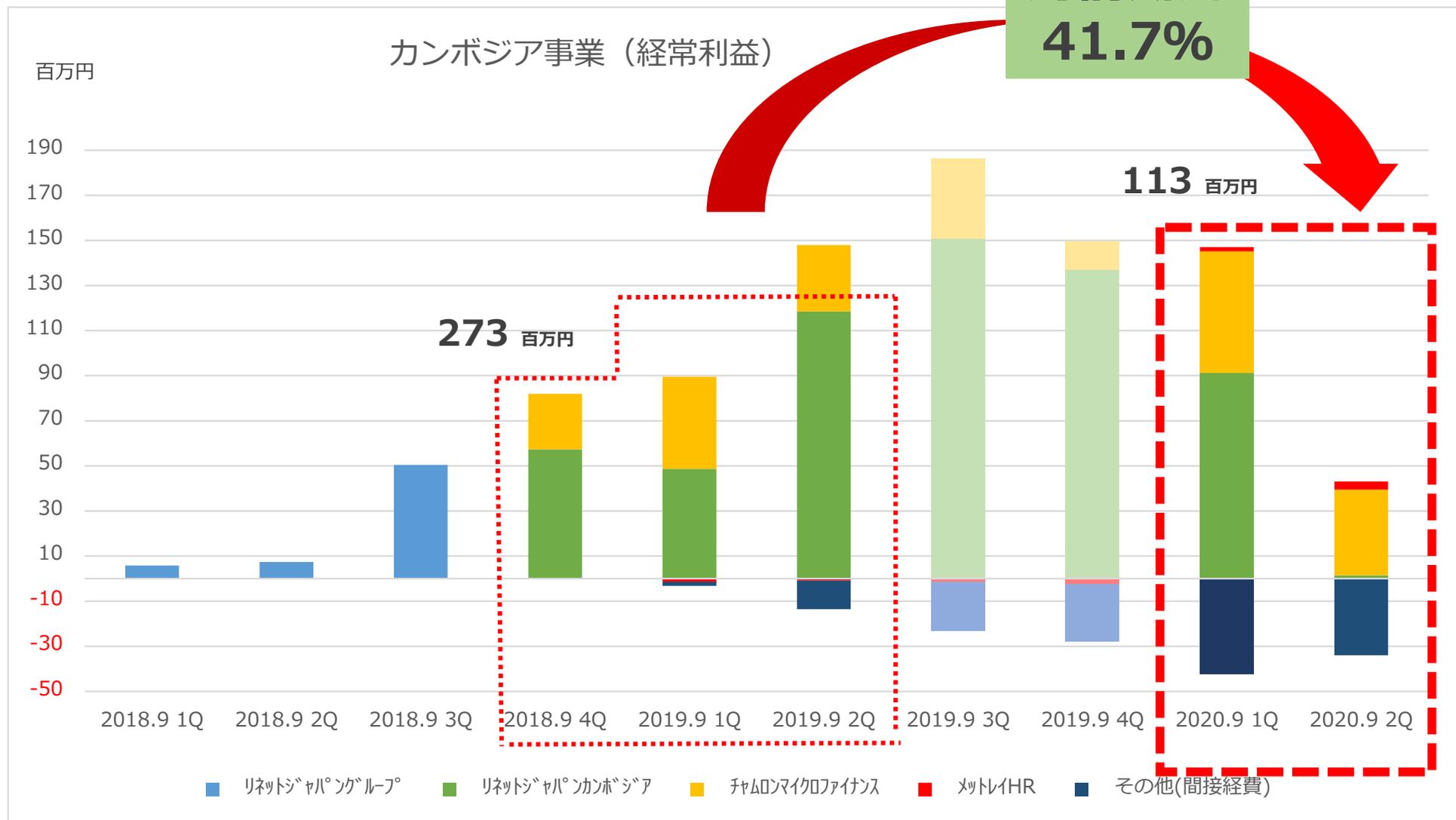
◆ 四半期推移

対前期比
56.4%



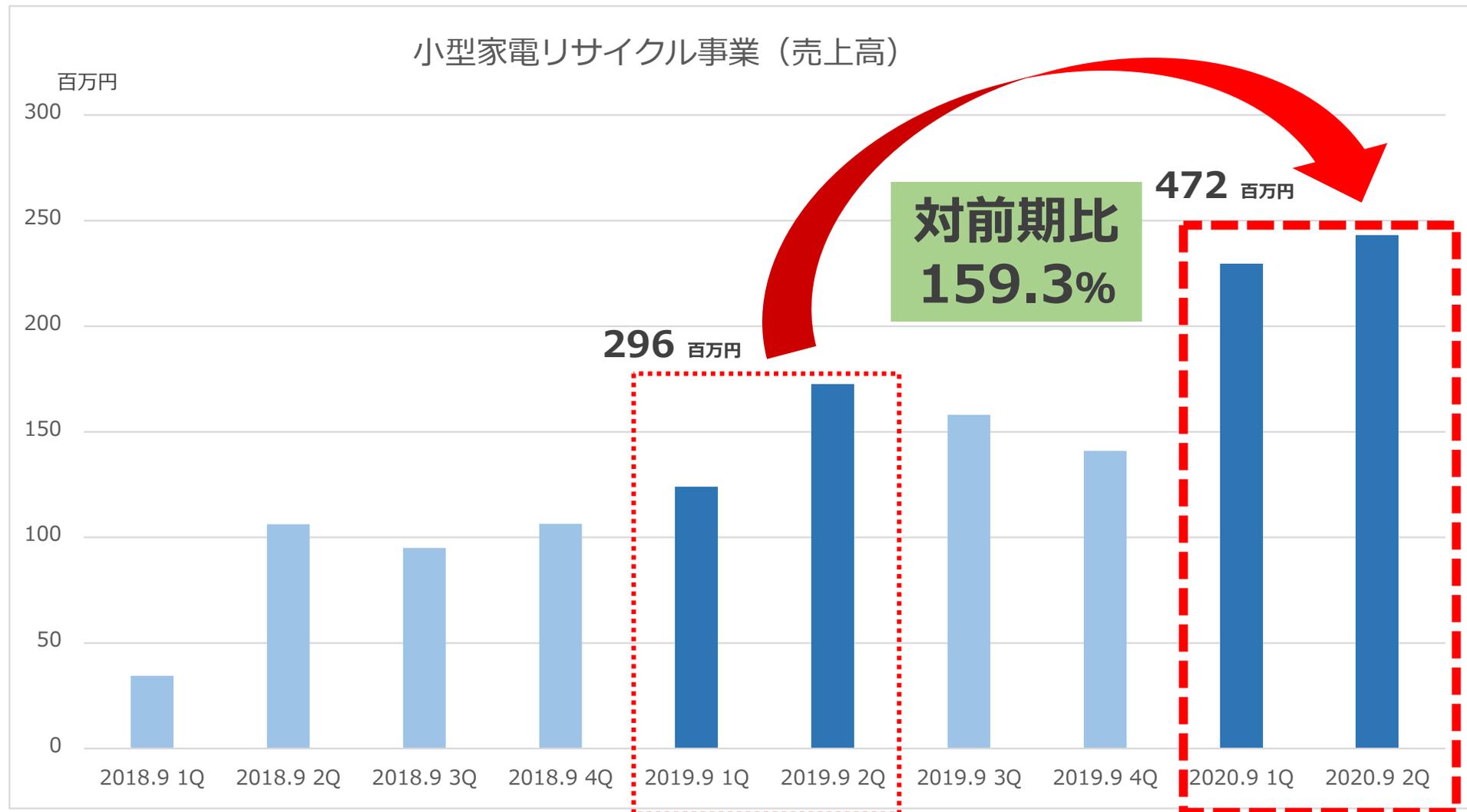
経常利益 1.1億円 前期比41.7%

◆ 四半期推移



前期比159.3%と大きく伸長 コロナの4月以降は前年比202.5%で推移

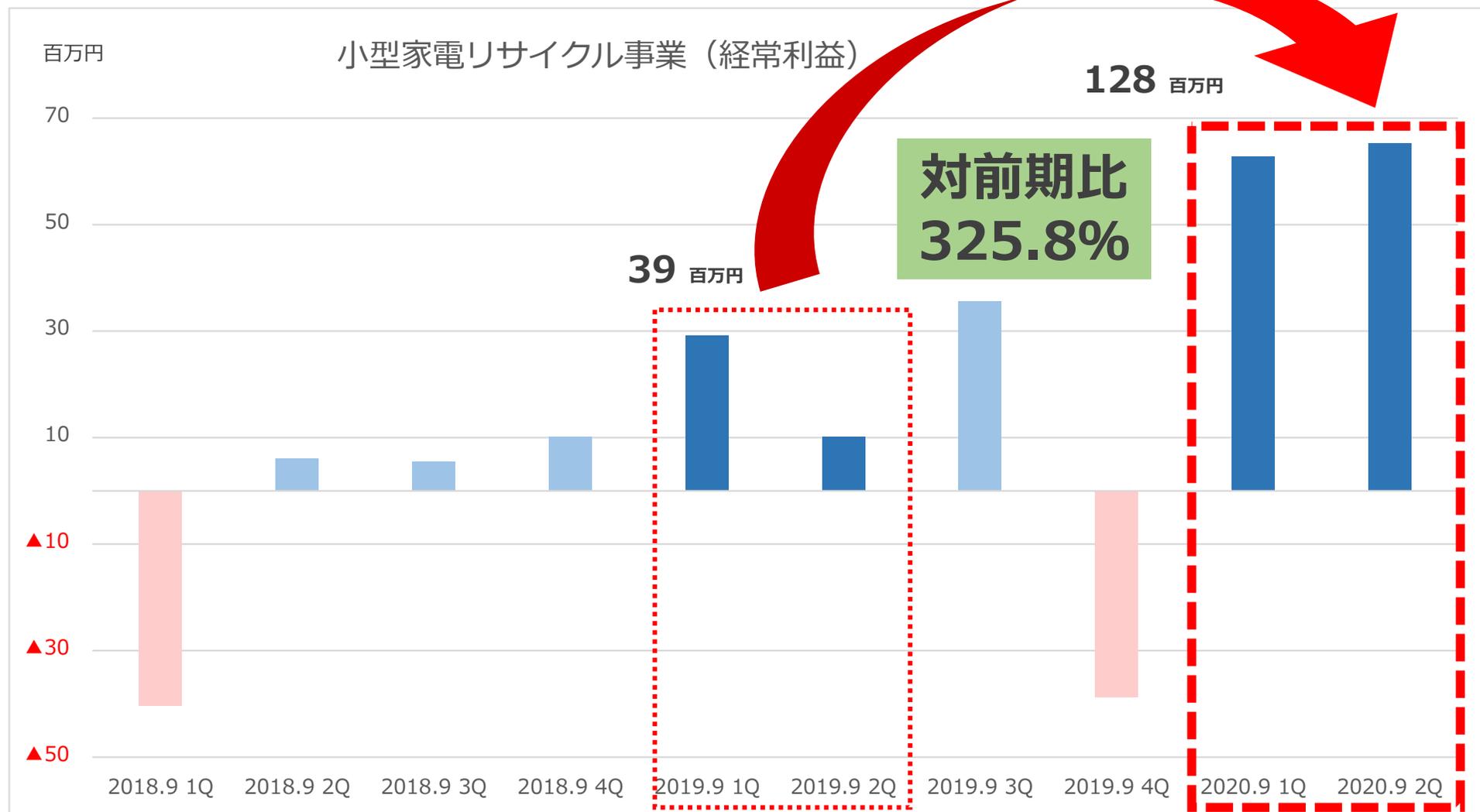
◆ 四半期推移



経常利益 128百万円 前期比325.8%

コロナの4月以降は期首計画より大幅増で推移

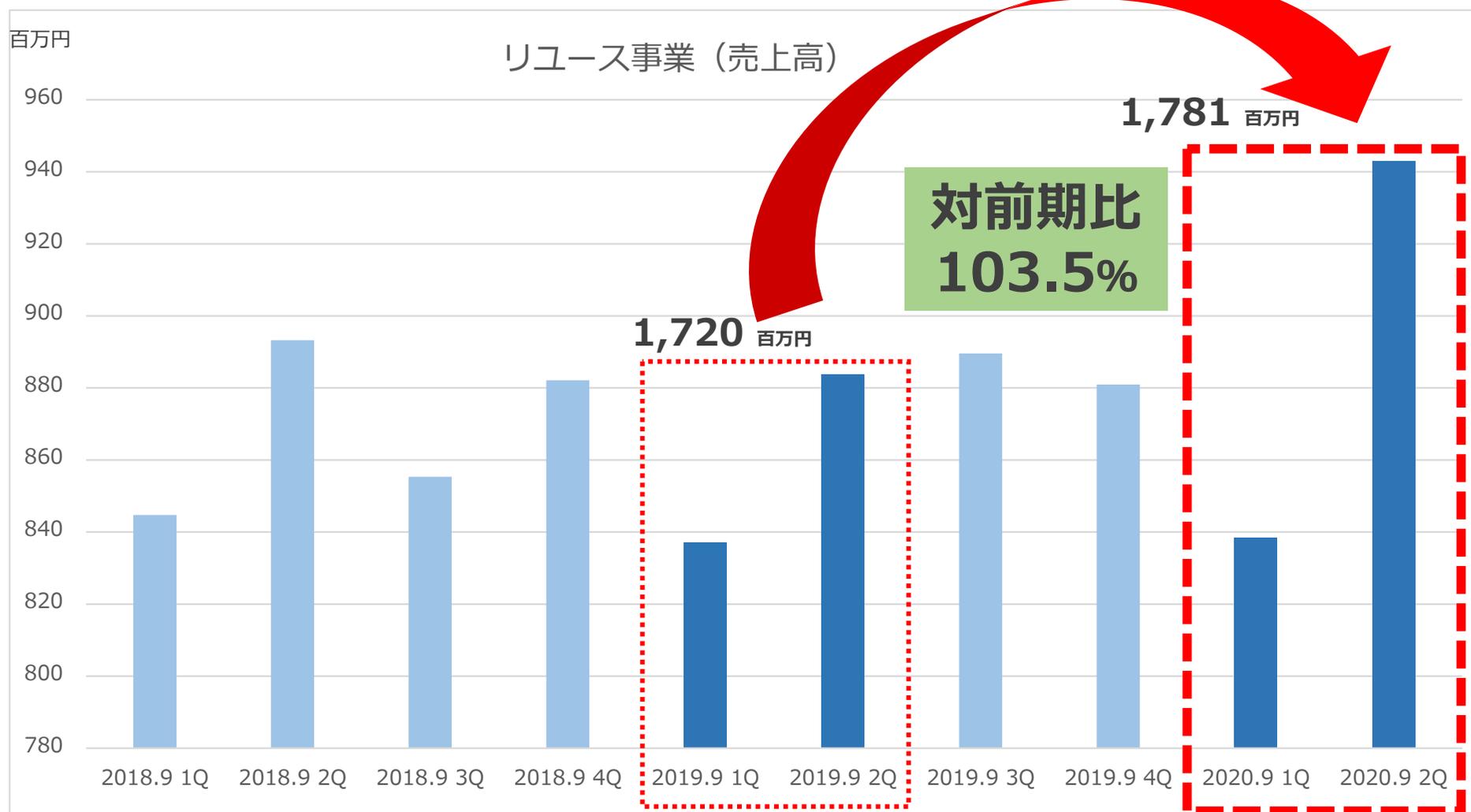
◆ 四半期推移



前期比103.5%

コロナ以降の4月以降は前年比115.8%で推移

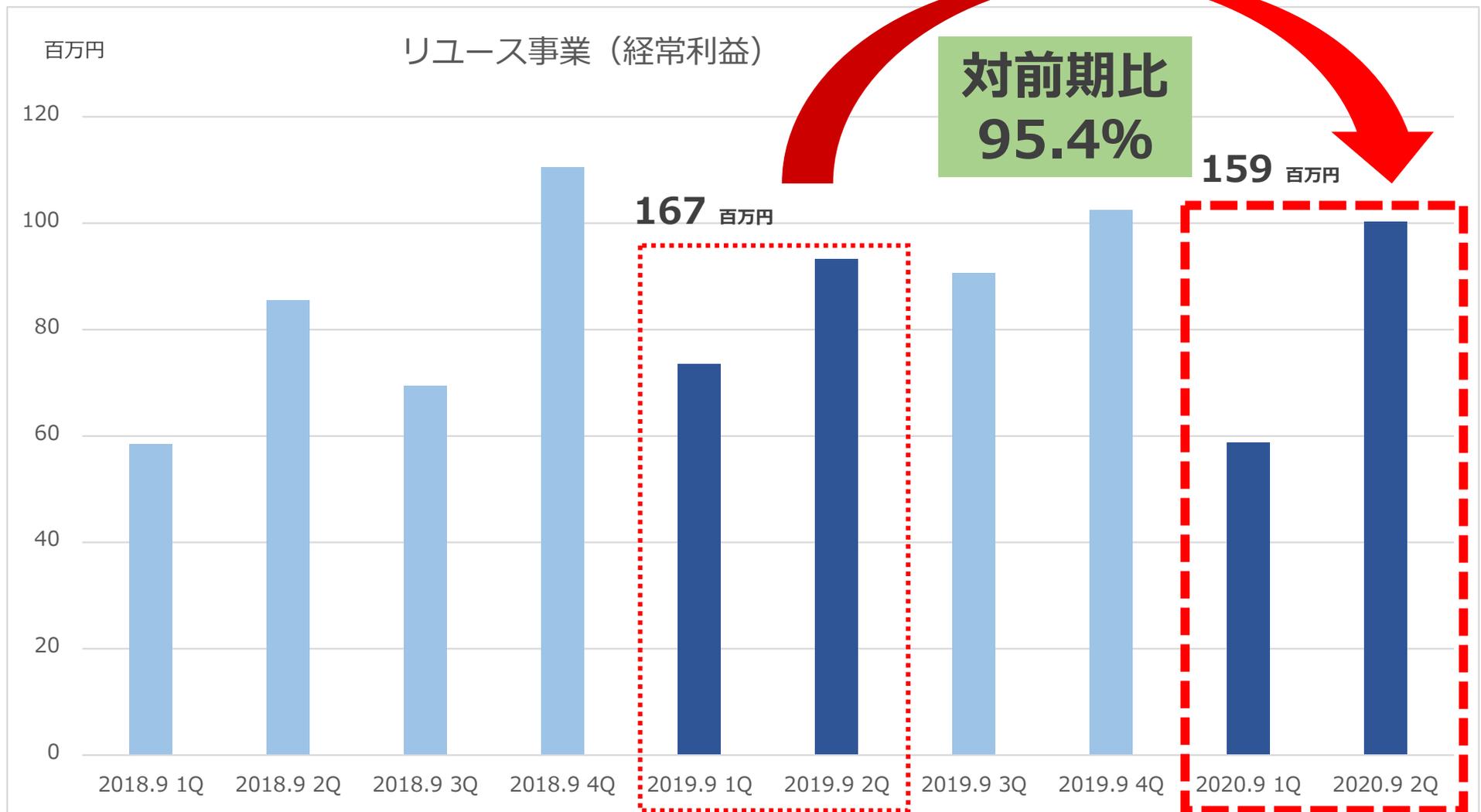
◆ 四半期推移



経常利益 159百万円 前期比95.4%

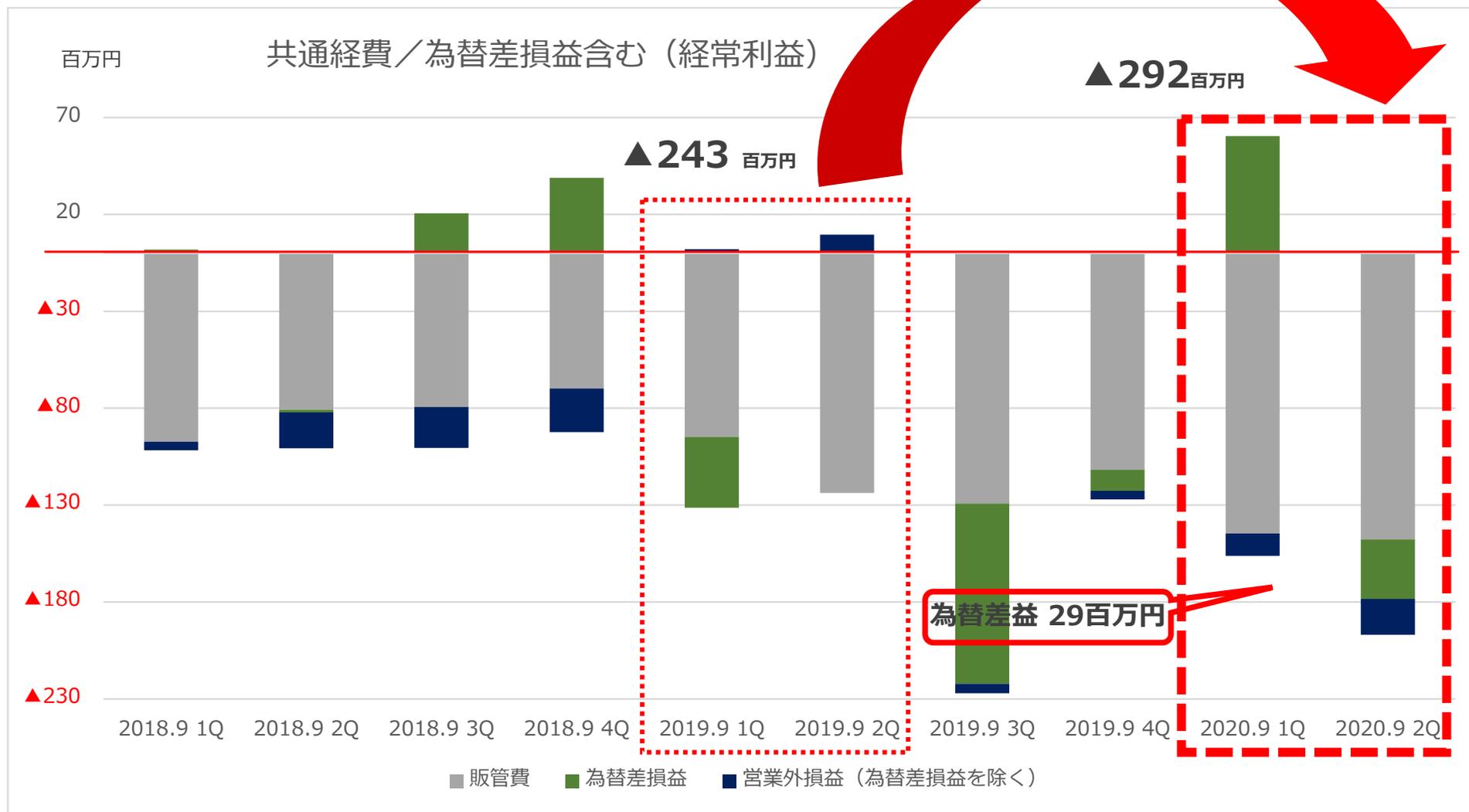
コロナの4月以降は期首計画より大幅増で推移

◆ 四半期推移



共通経費▲292百万円 前期差+49百万円（内為替差益+29百万円）

◆ 四半期推移



連結総資産 103億円となり前期差 + 26.7億円

単位：百万円	2019年9月期	2020年9月期 2Q	対前期差
流動資産	6,788	9,187	+2,399
固定資産	822	1,097	+275
繰延資産	10	13	+2
資産合計	7,621	10,298	+2,677
流動負債	2,751	3,739	+987
固定負債	2,290	3,895	+1,604
負債合計	5,042	7,634	+2,592
純資産合計	2,579	2,663	+84
負債・純資産合計	7,621	10,298	+2,677

事業資金の確保に加えて 新型コロナの有事対策としても資金確保を実施予定

	事業資金	有事対策資金
銀行借入	13 億円	協議中
エクイティ (第18回新株予約権)	13 億円	—
合計	26 億円	協議中

※ 有事対策資金はコミットメントラインを予定

I Rに関するお問い合わせ先

リネットジャパングループ株式会社

管理部 I R担当

E-mail : ir@renet.jp

当資料は、リネットジャパングループ株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。